

学校法人明治薬科大学 中期計画（運営の大綱）

学校法人明治薬科大学は、創学者 恩田重信（剛堂）先生の建学の精神に基づき、「薬学の普及、社会に有用な資質の高い薬剤師・薬学分野における有能な人材の養成、広く社会に貢献できる真の医薬分業の実現をもって国民の保健衛生に資する」ことを基本方針とし、新たな社会環境の変化に対応できる大学運営を目指す。

本学では今期理事会の基本方針として「明治薬科大学 運営の大綱」（11 項目）を作成しており、これに沿って以下のとおり、3 年 7 月間（2023 年 11 月 18 日～2027 年 6 月定時評議員会終結の時）の中期計画を策定した。また、今期は改正私立学校法の施行を念頭に、この中期計画に沿った形で、別途年度ごとの詳細な事業計画を策定する。なお、年度ごとに進捗状況を評価し、必要に応じ次年度で修正する。

1. 薬学教育・研究環境の整備・充実

目標：「魅力ある大学づくり」「受験生から選ばれる大学づくり」

①薬学・医療の進歩に対応した教育・研究の改革を行う

②薬学に高い意識を持った志願者の確保に努める

本学 2 学科の特長を活かした魅力ある教育・研究の充実、薬剤師国家試験「ストレート合格率」の向上を目指した取り組み、現行の学生募集活動の見直し、グローバルかつ多様性のある薬学教育を目指す

③医療の変化に対応した学生教育の質の向上・満足度向上を目指す

教員数の計画的な拡充、教育内容の充実、学内教育体制の整備及び学生就職支援の充実

2. 財政基盤の確立と経営効率化

目標：本学の収入・支出・学生納付金の将来予測をもとにしたバランスのとれた予算編成と執行管理

①多角的な収入源の確保に努める

②競争的研究資金の確保に努める

③新剛堂会館における効率的な事業経営に取り組む

3. 組織・人事・給与制度の整備

目標：合理性のある組織・人事・給与制度の実現

組織体制の見直し、教職員の人事評価の結果の運用、役員・教職員の人材育成の組織的な推進、給与体系の適正化を図る等

4. 社会貢献の充実

目標：地域社会に対する薬学の普及・啓発活動の推進、及び 清瀬市の環境保全活動や防災活動への参画（協力）

5. 環境マネジメントシステムの継続運用

目標：E S C O事業の検証、本学の環境マネジメントシステムの継続運用並びに客観的な検証、及び 学生主導・参加型「グリーン購入法」の推進

6. 明治薬科大学附属薬局における臨床・教育・研究の推進及び地域社会貢献

目標：薬局製剤への取り組み 等、附属薬局の一層の有効活用

7. 危機管理体制の整備・充実とコンプライアンスの徹底

目標：内部質保証体制の整備・運用、「学校法人明治薬科大学 ガバナンス・コード」の運用・評価の実施、情報セキュリティーマネジメントの強化等

8. 創学 120 周年記念事業の剛堂会館新築と運営

目標：新剛堂会館の完成に向けて、有効な利活用、寄附金募集に係る具体的計画の策定と実施、並びに竣工記念事業の計画と実施

9. 維持員の増強及び維持員制度の充実と活性化の推進

目標：維持員数の増加対策、維持員相互の顔の見える関係づくり

10. 広報活動を通しての本学ブランド力の向上

目標：本学のブランド力の向上のための能動的な各種施策の立案と実行

11. デジタル新技術活用の推進

目標：IT/AI・DX等の推進による教職員の教育・研究・管理業務の効率化

① 現状の把握と分析

② IT/AI の導入の検討と検証

③ 部門間の連携体制の確立

以上